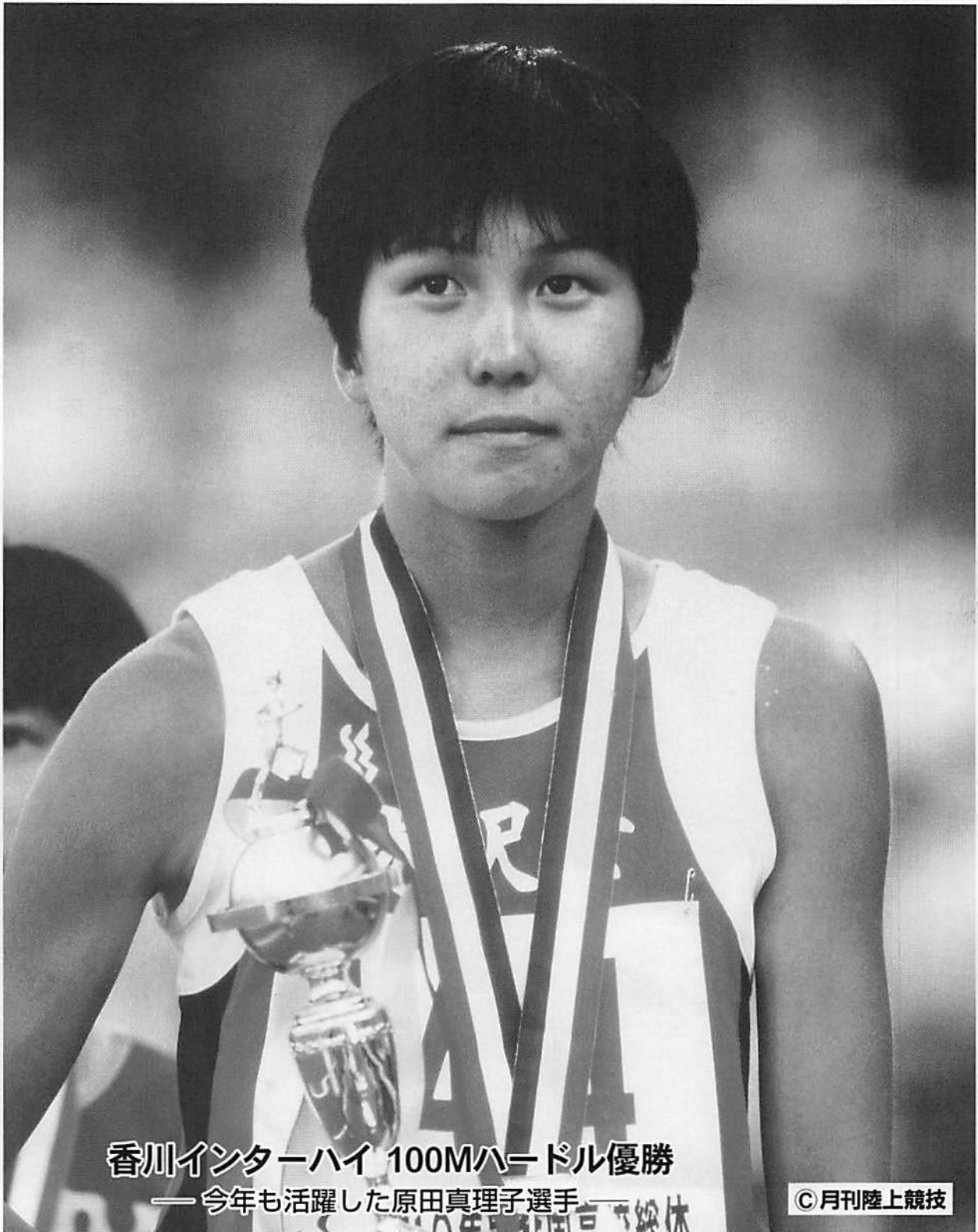


頑張れ米女!

よね じよ

米沢女子高校部活動後援会

NO. 8 1998. 12.



香川インターハイ 100Mハードル優勝

— 今年も活躍した原田真理子選手 —

©月刊陸上競技

「あいさし」

米沢女子高等学校部活動後援会長 中村 隆 志



本校の保護者の皆様をはじめ、地域の多くの方々の暖かいご支援の下に、今年

度も本校部活動の目覚ましい活躍が見られました。

陸上競技部は山形県高校総合体育大会で総合六連破を成し遂げ、さらに十二年連続のインターハイ出場を果たし、そしてさらに原田真理子選手が百メートルハードル競争でみごと全国一になるという快挙を成し遂げました。

私はこの陸上競技部の頑張りと同田選手の快挙にたいし心からの感動を覚えずにはおられません。毎日毎日の厳しい練習や合宿、そして試合の日々を通して、彼女たちは困難に打ち勝つ強い意志や仲間と深く連帯する心を自らの人格の中に育んでいったに違いありません。最近「個性」を育む教育ということが強く言われていますが、個性は鍛えられ磨かれていかなければ決して光を放つものにはなりません。米沢女子高校の陸上競技部は単なる陸上エリート集団でもなければ、単なる「根性」主義でもなく、上級生のリーダーシップのもと部内の生徒の民主的な人

間関係を大切にし、さらに顧問コーチの科学的で親身な指導など、私はそうしたことを垣間見ながら、この部こそ地域の中高校における部活動の一つの典型を形作っているのではないかと思えます。同時にこのことをもっと多くの人々に知っていたいただきたいといつも考えております。

この陸上競技部を先頭としてバスケット部、卓球部などが県大会の上位に進出し、一方文化系の書道部や美術部、演劇部、ストリングス、社会部などの活躍も大変目立ちました。こうした本校における部活動の発展と充実は、学校全体に豊かで清新なエネルギーを吹き込み学園の活性化に大きく貢献しています。こうしたことが地域社会にとっても大切なことであることは言うまでもありません。

来年度からは校名が変わり「九里学園高等学校」となり、男子の部活動も新たに胎動を開始します。皆様の更なるご支援を心からお願ひ申し上げます。

頑張れ！

九里学園高等学校



『大きく育ってゆく生徒』を見る楽しみ

学校長 九里 廣志



『玉虫、頑張れ!』以前もこんな叫びをテレビの前でしていた。三年前の京都駅

伝。県の代表校として出場した。一区

を走った玉虫智子に送った声援だった。彼女はスタート直後は先頭集団についていたが、次第に上がってゆく他校選手の手早いピッチに付いてゆけず、タスキを受け渡すときには三十五位。彼女の走ってからの感想の言葉は次のようなものだった。

「自分のペースが落ちそうになったときは、前の人のペースに合わせてようと思って走りました。四キロ位を過ぎたからは一番苦しいのぼりで、我慢のしどころでした。ラスト一キロはペースをきりかえましたが、思うようにはなりませんでした。」(報告集より)

今彼女は、全日本実業団女子駅伝で「川崎製鉄千葉」の一区の大役を担って、美濃(岐阜)路を走っている。ピッチは他の誰よりも早く見える。位置取りは相変わらず彼女の好き?な画面左残り一キロを切ったところから彼女のトップとの一騎打ちが始まった。自信を持った顔つき。負けず嫌いで、暇が

あればいつも米沢の街の中を走っていた彼女のことを思い出しながら、テレビに叫ぶ。

私には、玉虫が一瞬早くタスキを渡したように思えた。画面に瞬間二位・川崎製鉄千葉」と出たから、単なる欲目ではなかったと思う。「ヤッター!ヨシイゾー」と声がでる。(公式発表では、相手選手が一位となり、彼女は同タイムの二位となった。)走り終えた彼女の姿は、三年前、力尽きて、膝から崩れ落ちた姿とは大きく異なり、まだまだ余裕があるように感じた。テレビでのインタビューにも「まあまあです。」笑顔で淡々と話す彼女を見て、大きく育ってくれたなあと思無量の思いだった。

陸上競技部コーチの本田恒一先生がよく「育てる」「育つ」と言うことをおっしゃる。「教育で大切なことは、教えることだけではなく、可能性を持った生徒たちの特性を見抜き、育てあげること、自ら育ってゆくことを手助けすることが教師として大切なのだ」との意見だと、私なりに受け止めさせていただいている。この思いが、本校陸上競技部の生徒たちの素晴らしい活躍を支えているのだとも。今また玉虫の快走を見て、その思いを強くした所である。



書道部

県高総文祭(書道)の総括

須藤 喜美子



毎年、高いレベルを保ち続けることは実にづらい——そう考えるのは、顧問の私よりも部員が痛いほどに感じていることだ。もっと自由に書かせたい。賞のことは考えずに、書くことを楽しませたい。そう思っている。しかし、出品締切日が迫ってくる、私も生徒も力が入ってくる。

今年の県高等学校総合文化祭は鶴岡を会場に十月六日〜八日まで行われた。来年度、当県開催のため規模・内容共により充実したものとなった。当校書道部は書道部門と吟詠剣詩部門の二部門に参加した。書道部門では、参加校39校で作品は183点が集まった。当校からも出品枠いっぱい三年高橋千沙子、佐藤千嘉、皆川朱美、岡崎綾子、二年佐藤ひとみの作品を出した。審査は、三時間に及び慎重に行われた。その結果二年の佐藤ひとみの粘葉本和漢朗詠文祭の県代表出品権を得ることができた。吟詠剣詩舞の部門でもよいステータ

ジをつとめ、来年への足掛かりをしっかりとつけることができた。

鶴岡での夜は、書道部保護者会からの援助で部員全員で鶴岡木村屋のケーキのお祝いパーティーを開いた。生徒の顔はとつても輝いていた。

作品紹介と授賞の感想

佐藤 ひとみ



私が今回県高総文祭に出品した作品は、粘葉本和漢朗詠集の一部を臨書したものです。

一番難しかったことは、粘葉本独特の雰囲気を出すことです。漢字と仮名があつて、特に漢字を仮名風(和様漢字)に、なおかつやや力強く書くというのがとても難しかったです。

今回、県高総文祭で、総合文化祭賞を受賞できて、とてもうれしく思っています。そして、第一席というのが、今になつても、正直言つて信じられません。受賞できたのも、顧問の先生を始め、部活の先輩方、そして、私を支えてくれた人達のおかげだと思つています。

これからは、来年の全国高総文祭に向けて頑張っていきたいと思つています。

陸上部

国体を振り返って

本田 米子



今年の国体は、「かながわ・ゆめ国体」というスローガンのもと、十月二十五日の

開会式をかわきりに十月二十九日まで、神奈川県横浜国際総合競技場を会場にして行われました。本校陸上部からは、少年女子Aの部に、一〇〇Mハードルと走幅跳に原田真理子(三年)、四〇〇Mと四〇〇Mハードルに酒井 恵(二年)、少年女子共通三〇〇MWに長沼朱美(三年)、少年女子Bの部、砲丸投に伊藤和代娘(一年)、八〇〇Mに長沼史子(一年)、一〇〇Mハードルに木嶋春香(一年)と八種目、六名と例年になり大勢の選手が国体に出場することになり、陸上部にとつても、大変な快挙であつたと思つています。

国体出場までの選手達の様子は、意欲的で練習も計画どおりにすすみ、コンディショニングも順調で、準備は万全でした。自己ベストを出すことはもちろん、主目的には、優勝も意識して臨みましたが、現地で練習中にケガをするというアクシデントで木嶋が一

〇〇Mハードル棄権、インターハイ一〇〇Mハードル優勝者の原田真理子は、走幅跳で入賞したものの、一〇〇Mハードルは予選通過もプレッシャーという重圧に耐えきれず、まさかの準決勝落ち、他の選手達は、初めての大舞台にもかかわらず、入賞はできませんでしたが、精一杯の戦い方をしてくれ、目標は達成できたと思つています。陸上部にとつて、国体は、平成十年度の集大成でもありました。課題も多く、口惜しさも残る大会でしたが、一・二年は来年もチャンスがあるわけで、今年の経験を生かして、全国で勝負できる選手に成長して欲しいと期待すると同時に、次に続く選手も、追いつけ追い越せで切磋琢磨して、来年も大勢の選手を、国体に送り出したいという希望をもって、心新たに、来年に向けスタートしてゆきたいと思つています。部活動後援会より、陰ながらのバックアップに対して感謝申し上げます。今後共応援宜しくお願い致します。

走幅跳

7位入賞

原田真理子

卓球部

全日本大会出場!!

全国大会をめざして

顧問 大 滝 勤



十二月になり、卓球競技はいよいよビックイイベントが開催される季節になった。そのイ

ベントは、全日本選手権である。インターハイや国体で活躍した、あるいは社会人や大学の試合で活躍した選手達が、ナショナルチーム入りをかけて、日本の頂点を目指す大会である。この大会に、一年生ながら山形県の代表として齋藤恵選手が出場することになった。他の選手達にも代表の可能性は充分にあったのだが、それらの分まで頑張ってほしい。齋藤選手については、来年度からルールが改正され、現在使っている用具が使用できなくなるといふ不運があるので、今からニュースタイトルに挑戦しているところであるが、大きな舞台でのリハーサルができて、きつと良い経験になることであろう。(全日本には高石コーチも出場する) 二月には、東北高校選抜大会がある。十一月の東北各県新人大会の上位二チームが集い全国大会の出場権を競う。

県大会は決勝で、試合中に選手に故障が発生し、惜敗してしまっただが、残り二ヶ月で万全に整え、全国大会出場をめざしたい。

今後の抱負

齋藤 恵



今年の九月、全日本卓球選手権大会県予選会が天童で行われました。この大会での目標

は、地区新人大会で負けてしまった人よりも上の成績をとることでした。あのときの私には、全日本なんて夢のような話でした。そんなふうと思う毎日がどんどん過ぎて、県大会当日、私は不安でいっぱいでしたが、先輩や仲間たちの応援があり私の不安は試合が進むにつれ消えていきました。一日目が終わると私はいつものまにかベスト8というランクに入っていました。そして二日目の準決勝では、先生や先輩のアドバイスをもとに勝つことができました。勝つことができたのは沢山の人の応援があったからだと思います。本当にありがとうございます。全日本大会は、自分の力を発揮してがんばって

きたいと思います。応援よろしくおねがいします。

東北選抜大会での抱負

卓球部部长 横澤 美保



二月にある東北選抜大会に出場します。今年は、ケガをしたりとあまり力を発揮するこ

とができませんでした。そのため、チームのみんなに迷惑をかけてしまい、力

になることができず何度も悔しい思いをしました。その悔しい思いを東北選抜にぶつけるためにも今から体調を整え、練習に励んでいくつもりです。東北地方の卓球のレベルは、全国的にも上位を占めています。その中で試合をすると、自分にはないものをみつけることができ、学ぶことができます。一年生の時はとてもいい勉強になりました。そんな東北大会に胸をはって出場できるよう、チームのリーダーとして“大きな力”になれるよう上位めざしてがんばりたいと思います。



大会報告

平成十年度 置賜地区高校新人大会

ソフトボール部

1回戦 米女 9×対2 荒砥
準決勝 米女 0 対7 南陽
3位決定戦 米女 1 対4 米東
メンバー

須貝真紀子 2年(長南)・石山聡美
2年(米沢四)・高橋美佳 2年(米沢二)・笹木千絵 2年(米沢一)・歌丸美由紀 2年(赤湯)・佐藤由紀子 2年(沖郷)・情野由香 2年(南原)・我妻 恵 2年(米沢四)・上原直子 2年(米沢四)・高野麻美 2年(米沢二)・江部晴菜 1年(米沢四)・永沢 恵 1年(米沢四)



剣道部

予選リーグ 米女 1対3 米興
米女 4対1 米東



準決勝 米女 3対2 米中央
米女 1対3 米商
メンバー

小川涼子 2年(赤湯)・寺島牧子 2年(長井南)・齋藤亜衣 2年(高島四)・橋本紀美子 1年(米沢一)・棚橋悦子 1年(米沢二)・丸山陽子 1年(長井北)

個人
ベスト8 2年 斉藤 亜衣(高島四)
2年 寺島 牧子(長井南)

バレーボール部

予選リーグ 米女 1対2 米東
米女 1対2 南陽
7位決定戦 米女 2対0 小国
メンバー

鈴木博子 2年(梨郷)・栗野麻美 2年(沖郷)・上原紀子 2年(米沢一)・奥山友美 2年(高島二)・安部真知子 2年(米沢一)・近野絵美 2年(米沢二)・小村まどか 2年(米沢五)・鈴木阿沙美 2年(飯豊)・遠

藤香織 1年(米沢四)・猪野英恵 1年(高島三)・舟山香緒里 1年(飯豊)・遠藤美由紀 1年(米沢五)



バドミントン部

団体戦
1回戦 米女 3対0 長井
2回戦 米女 0対3 米商
順位決定戦 米女 3対2 米東
3位決定戦 米女 3対1 長井
(団体3位県大会出場)



メンバー

尾形瑞穂 2年(米沢四)・朝倉美香 2年(米沢二)・小澤可枝 2年(米沢一)・泉谷京子 1年(米沢二)・安部真由美 1年(米沢五)・片平真伊 1年(米沢二)・小形あゆみ 1年(米沢六)

個人シングルス

1回戦
朝倉 美香(米沢二) 2対0 長井工
小沢 可枝(米沢一) 0対2 米興
片平 真伊(米沢二) 2対0 南陽
尾形 瑞穂(米沢四) 0対2 長井工
2回戦
朝倉 美香(米沢二) 0対2 米東
片平 真伊(米沢二) 0対2 米興
個人ダブルス
1回戦
小形あゆみ(米沢六)
安部真由美(米沢五) 0対2 長井
朝倉 美香(米沢二)
尾方 瑞穂(米沢四) 2対0 荒砥
井上 典子(赤湯)
網路 明香(米沢六) 0対2 長井工
手塚 香(米沢一)
橋本 里佳(米沢二) 2対0 米東
片平 真伊(米沢二)
泉谷 京子(米沢二) 0対2 米興
2回戦
朝倉 美香(米沢二)
尾形 瑞穂(米沢四) 0対2 米興
片平 真伊(米沢二)
泉谷 京子(米沢二) 1対2 米商

ソフトテニス部

団体戦 米女 0対2 米商

米女 1対2 高島

米女 2対0 小国

メンバー

山口弘美 2年(赤湯)・勝美真弥

2年(川西一)・佐藤恭子 2年(川西

一)・佐藤友美 2年(長井北)・新井

みか 2年(白鷹東)・結城亜弥香 2年

(上郷)・宍戸みゆき 2年(米沢三)

個人戦

1回戦

結城(上郷)・山口(赤湯)ペア

4対3 米東

須貝(川西一)・佐藤恭(川西一)ペア

1対4 長井

大野沢(米沢四)・小関(飯豊)ペア

棄権

宍戸(米沢三)・佐藤友(長井北)ペア

3対4 米興



2回戦

結城・山口ペア

4対2 米興

3回戦

結城・山口ペア

1対4 米商

(ベスト16で県大会出場)

バスケットボール部



1回戦 米女 95対22 置農
2回戦 米女 19対42 米東
代表決定戦 米女 51対50 長井

(第三位で県大会出場)

メンバー

渡部裕希 2年(高島一)・鈴木泰子

2年(米沢三)・加藤由美子 2年

(吉野)・荒木麻衣子 2年(川西一)・

加賀 恵 2年(吉野)・柴倉暁美

2年(米沢二)・渡部絵美 2年(赤

湯)・斉藤育美 1年(米沢六)

卓球部

団体戦 優勝

2回戦 米女 3対1 米工

準決勝 米女 3対1 長井

決勝 米女 3対1 米商

メンバー

横山聖子 2年(川西一)・若笠 瞳

2年(米沢一)・横澤美保 2年(長井

南)・我妻智代 2年(高島一)・齋藤

恵 1年(川西一)・佐藤千郁子 1

年(川西二)・飯澤美里 1年(長井

北)

シングルス

第1位 横山 聖子 2年(川西一)

第2位 横澤 美保 2年(長井南)

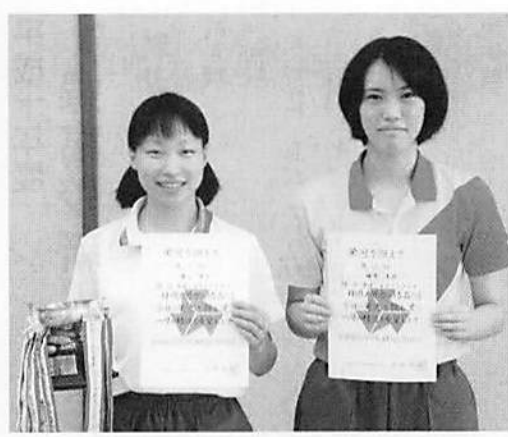
ベスト8 若笠 瞳 2年(米沢二)

我妻 智代 2年(高島一)

佐藤千郁子 1年(川西二)

齋藤 恵 1年(川西二)

板垣志津子 1年(米沢二)



弓道部

団体戦 三位(80射33中)

メンバー

鈴木 芳 2年(川西一)・中野 碧

2年(高島二)・青柳由美 2年(米沢

二)・青山久美 2年(米沢四)・高橋

啓子 2年(米沢一)

個人戦

優勝 鈴木 芳(川西一)(8射6中)

3位 青山 久美(米沢四)

テニス部



団体戦 優勝

メンバー

松本あい子 2年(米沢四)・椎谷奈

緒美 2年(米沢二)・渡部梨絵 2

年(米沢二)・市村直子 1年(上郷)・

海谷 希 1年(米沢二)・長谷川

円 1年(米沢二)・佐藤めぐみ 1

年(米沢二)

シングルス

- 第1位 松本あい子 (米沢四)
- 第2位 渡部 梨絵 (米沢二)

ダブルス

- 優勝 佐藤めぐみ (米沢二)
- 渡部 梨絵 (米沢二)
- 第2位 市村 直子 (上郷)
- 長谷川 円 (米沢二)
- 第3位 松本あい子 (米沢四)
- 椎谷奈緒美 (米沢二)

陸上部

100M

- 1位 渡部希和子 2年(長井北)
- 2位 古川 聡子 2年(飯豊)

200M

- 1位 酒井 恵 2年(小国)
- 2位 鈴木佐知子 2年(赤湯)
- 5位 佐藤 幸恵 1年(赤湯)

400M

- 1位 鈴木佐知子 2年(赤湯)
- 2位 酒井 恵 2年(小国)
- 4位 佐藤 幸恵 1年(赤湯)
- 800M
- 1位 長沼 史子 1年(米沢二)
- 4位 米野由香里 1年(飯豊中)
- 5位 鈴木 淑生 2年(上山南)

3000M

- 1位 長沼 史子 1年(米沢二)
- 2位 長沼 理恵 2年(上郷)
- 3位 鈴木 淑生 2年(上山南)

100MH

- 1位 木嶋 春香 1年(赤湯)
- 3位 安部明日香 1年(上郷)
- 5位 安部希和美 2年(長井北)

3000MW

- 1位 高橋ゆかり 2年(米沢六)
- 2位 遠藤友紀恵 2年(飯豊)

走幅跳

- 2位 木嶋 春香 1年(赤湯)
- 3位 古川 聡子 2年(飯豊)
- 4位 渡部希和子 2年(長井北)

砲丸投

- 1位 伊藤和代娘 1年(赤湯)
- 2位 菅野 智子 2年(赤湯)

円盤投

- 1位 菅野 智子 2年(赤湯)
- 2位 伊藤和代娘 1年(赤湯)

400MR

- 1位 渡部希和子 2年(長井北)
- 2位 鈴木佐知子 2年(赤湯)
- 古川 聡子 2年(飯豊)
- 酒井 恵 2年(小国)

一年生大会

- 100M
- 2位 高橋 香織 (米沢二)
- 4位 近藤香代子 (赤湯)
- 5位 鹿俣枝里子 (米沢二)
- 400M
- 2位 高橋 香織 (米沢二)
- 3000M
- 1位 米野由香里 (飯豊)
- 6位 鹿俣枝里子 (米沢二)
- 1位 安部 美澄 (長井北)
- 3位 近藤佳代子 (赤湯)

平成十年度

県高校新人大会

剣道部

個人戦

一回戦

- 齊藤 亜衣 (高島四) 対 庄内農
- 寺島 牧子 (長井南) 対 山商
- いずれも惜しくも敗退

卓球部

団体戦

- 一回戦 米女 3対0 山商
- 二回戦 米女 3対1 鶴商
- 準決勝 米女 3対1 山学院
- 決勝 米女 0対3 山城北
- (東北選抜大会出場)

シングルス

- 第三位 横山 聖子 2年(川西二)

バスケットボール部

- 一回戦 米女 58対47 寒河江
- 二回戦 米女 50対66 鶴岡北

ハンドボール部

- 一回戦 米女 14対8 上山明新館
- 準決勝 米女 6対35 日大山形
- (ベスト4で第三位)

陸上部

100M

- 5位 渡部希和子 2年(長井北)
- 予3位 古川 聡子 2年(飯豊)
- 予4位 安部 美澄 1年(長井北)

200M

- 2位 酒井 恵 2年(小国)
- 4位 鈴木佐知子 2年(赤湯)
- 6位 佐藤 幸恵 1年(赤湯)

400M

- 1位 酒井 恵 2年(小国)
- 2位 鈴木佐知子 2年(赤湯)
- 3位 佐藤 幸恵 1年(赤湯)

800M

- 1位 長沼 史子 1年(米沢二)
- 4位 米野由香里 1年(飯豊)
- 7位 鈴木 淑生 2年(上山南)

3000M

- 2位 長沼 史子 1年(米沢二)
- 5位 長沼 理恵 2年(飯豊)
- 8位 鈴木 淑生 2年(上山南)

100MH

- 1位 木嶋 春香 1年(赤湯)
- 5位 安部明日香 1年(上郷)
- 予5位 安部希和美 2年(長井北)

3000MW

- 2位 高橋ゆかり 2年(米沢六)
- 3位 遠藤友紀恵 2年(飯豊)
- 走幅跳
- 2位 木嶋 春香 1年(赤湯)
- 6位 古川 聡子 2年(飯豊)
- 8位 渡部希和子 2年(長井北)

走高跳
6位 安部明日香 1年(上郷)

砲丸投
1位 伊藤和代娘 1年(赤湯)
4位 菅野 智子 2年(赤湯)

円盤投
2位 菅野 智子 2年(赤湯)
3位 伊藤和代娘 1年(赤湯)

400MR
1位 渡部希和子 2年(長井北)

鈴木佐知子 2年(赤湯)
古川 聡子 2年(飯豊)
酒井 恵 2年(小国)

一年生大会

100M

予4位 高橋 香織(米沢二)
予7位 近藤佳世子(赤湯)

400M

6位 高橋 香織(米沢二)

3000M

3位 米野由佳里(飯豊)

走幅跳

1位 安部 美澄(長井北)
予選 近藤佳世子(赤湯)

弓道部

(新庄北高弓道場)

団体戦 40射13中

予選通過ならず(通過は15中以上)

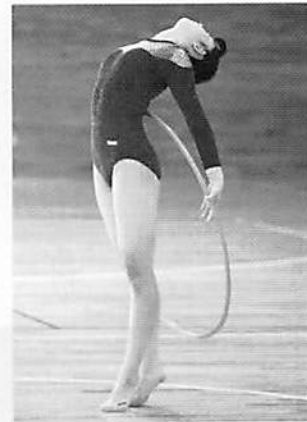
テニス部

(県総合運動公園)

一回戦 山形西高に敗退

新体操部

出場者 仁科亜沙子 2年(米沢三)
佐藤瑠美子 2年(赤湯)



平成十年度

東北高校新人大会

陸上部

(青森)

200M

5位 酒井 恵 2年(小国)

400M

2位 鈴木佐知子 2年(赤湯)

3位 酒井 恵 2年(小国)

7位 佐藤 幸恵 1年(赤湯)

800M

2位 長沼 史子 1年(米沢二)

3000M

2位 長沼 史子 1年(米沢二)

100MH

1位 木嶋 春香 1年(赤湯)

3000MW

5位 遠藤友紀恵 2年(飯豊)

9位 高橋ゆかり 2年(米沢六)

走幅跳
8位 木嶋 春香 1年(赤湯)

砲丸投
予選 伊藤和代娘 1年(赤湯)

円盤投
13位 菅野 智子 2年(赤湯)
16位 伊藤和代娘 1年(赤湯)

400MR
1位 渡部希和子 2年(長井北)

鈴木佐知子 2年(赤湯)
古川 聡子 2年(飯豊)
酒井 恵 2年(小国)

全日本ジュニア陸上大会

100MH

4位 原田真理子 3年(氏家)

5000MW



6位 長沼 朱美 3年(飯豊)

1600MR

予選 五十嵐佳代(長井南)

原田真理子(氏家)

石川 里香(米沢六)

宮城 里美(長井北)

走幅跳

予選 原田真理子(氏家)

置賜地区高校女子駅伝

米沢女子A 3位
米沢女子B 5位

県高校女子駅伝(天童)

米沢女子 2位

山形県卓球選手権大会
全日本予選

(県総合運動公園メインアリーナ)

ジュニアシングルス

4回戦

横山(川西二)、若笠(米沢二) 敗退

5回戦

横澤(長井南) 1対2 林(酒東)

準決勝

齋藤(川西二) 1対2 岡田(谷地)

(第3位、全日本大会出場)

一般シングルス

4回戦

横澤(長井南)、敗退(ベスト8)

全国高校総合体育大会
陸上競技

100MH

1位 原田真理子 3年(氏家)

国民体育大会秋季大会
陸上競技

走幅跳 7位

原田真理子 3年(氏家)

原田真理子 3年(氏家)

原田真理子 3年(氏家)

原田真理子 3年(氏家)

文化系クラブ 主な活動と成績

第二十八回山形県高等学校 新人ワープ口競技大会

- Aチーム 鈴木亜矢子(宮内)
小野寺郁美(飯豊)
桑原 直子(米沢三)
市川 麻美(沖郷)
(入賞ならず)
- Bチーム 清水 香織(宮内)
山岸 美和(飯豊)
鈴木 敦子(米沢六)
小関 瞳(米沢六)

美術部

第二十二回山形県高等学校 総合文化祭兼第四十六回山形 県高等学校美術展

- 奨励賞(油彩画)
神田 由佳 3年(米沢五)
題名「黄色い手袋」

第四十九回

置賜地区高等学校美術展

- 置賜地区高等学校美術展賞(油彩画)
渡部智佳子 3年(飯豊)
題名「古い小屋」

特選(油彩画)

- 神田 由佳 3年(米沢五)
題名「黄色い手袋」

特選(油彩画)

- 笹木 寛子 1年(米沢二)

- 題名「一人っ子」
奨励賞(油彩画)
中村かおり 3年(米沢三)
題名「夏の緑の中で」

奨励賞(油彩画)

- 石川 悦子 3年(米沢二)
題名「ところまで」

書道部

第二十三回

山形県高等学校総合文化祭

(鶴岡市体育館)

吟詠詩舞部門

- 書士 佐藤 千春 3年(高畠二)
佐藤ひとみ 2年(上郷)

書道部門

- 総合文化祭賞(第一席)
佐藤ひとみ 2年(上郷)

- 来年度全国総合文化祭
県代表出品権を得る

文化連盟賞

- 皆川 朱美 3年(高畠四)

秀逸

- 佐藤 千春 3年(高畠二)

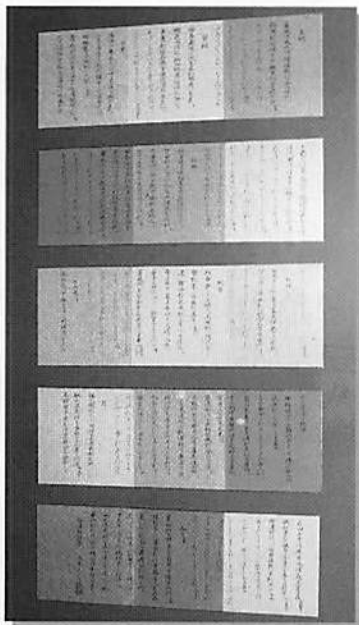
優秀賞

- 高橋千沙子 3年(米沢六)

岡崎

- 綾子 3年(米沢二)

総合文化祭賞「粘葉本和漢朗詠集」 佐藤ひとみ



米沢女子高等学校体育文化活動後援会

会員募集

本会は米沢女子高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める
体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。会費は次の通り
です。

特別会員

年会費 一〇、三、〇〇〇円

(□数は問わず)

法人会費

年会費 一〇、一〇、〇〇〇円

(□数は問わず)

新規会員を募集しております。

御問い合わせは後援会事務局までご一報下さい。(担当・福岡)

発行

米沢女子高等学校部活動後援会

事務局 米沢市門東町 1-1-72
米沢女子高等学校内
TEL. 0238-22-0091
FAX. 0238-22-0092